

「ひょうごe-県民制度」で UJIターン促進

兵庫県の関係人口、交流人口増加を目的として今年1月から開始した「ひょうごe-県民制度」の登録者数が、これまでに約3,000人となった。

登録すると全国のスーパーやコンビニで利用できる電子マネー機能付きカード「ひょうごe-県民証」が発行され、利用金額に応じて電子マネー会社から県に寄付される仕組みとなっている。また地域行事や行政情報などをメールマガジンで受け取ることができる。今秋には地域情報を発信するアプリや特産品を販売する

インターネットモール(ECサイト)の開設を予定。買い物に使えるクーポンの発行や県独自のポイントを上乗せするといったサービスも計画している。

制度の背景には県人口の減少がある。県は平成24年以降、転出者が転入者を上回る「転出超過」が継続している。この流れに歯止めをかけようと、県では地域創生を推進。その一環である本制度は、登録者が地元とネットワークをつくり、将来の移住に繋げていくことがねらいだ。県の担当者は「制度利用をきっかけに、次に移住する場所や二地域居住の候補として考えてもらえれば」と話す。

兵庫県外に住む県内出身者、兵庫県に通勤・通学していた人、兵庫県に関心のある人を対象としている。登録方法などは県のポータルサイト「夢かなうひょうご」で確認。



制度の内容

- ひょうごe-県民証は、全国のコンビニやスーパーで使用でき、電子マネー会社のポイントを受け取ることができる。
- ゆかりの市町情報や登録市町の地域行事などの情報を受け取ることができる。
- 県の特産品がインターネットで購入できる(2019年10月予定)
- 利用額に応じて、電子マネー株式会社から兵庫県に寄付される。

「庄内駅」を「庄内音大前駅」に 駅名改称賛同者をWEBにて募集

庄内には大阪音楽大学があることから、音楽があふれる街として若者が集まる地域にしようと「庄内駅」を「庄内音大前駅」へ駅名改称を提案、WEBで賛同者の署名を集める活動を行っている。実施主体は豊中南ライオンズクラブ・豊南市場・庄内本通商店街振興組合・庄内西本町商店会。

豊中市南部の庄内エリアは、年々少子化・高齢化が進み、人口が減少傾向にある。かつてはにぎわっていた商店街も、シャッターを下ろす店舗が増えてきている。再び活力に満ち溢れた庄内を取り戻そうと、駅名改称の活動をスタートさせた。

署名収集の目標は3万人で、集まった

署名は、今夏豊中市と阪急電鉄に提出予定。「音大にも駅名改称の了承を得ています。これをきっかけに庄内が活性化してくれれば」と豊中南ライオンズクラブの奥田さん。6月22日・29日の土曜日には、庄内駅東口周辺で音大生による駅前コンサートを開催。その会場で街頭署名活動を行う予定だ。

WEB署名は豊中南ライオンズクラブのWEBサイトで6月30日まで実施。「豊中南ライオンズクラブ」で検索を。



FM COCOLO × CITYLIFE 音楽のCOCOLO VOL.02

radiko なら、パソコン・スマートフォンで FM COCOLOが無料でクリアに聴ける!

FM COCOLOの人気DJが季節やテーマに合わせた音楽を紹介。

梅雨の季節、雨の日も気持ち良く過ごせるオススメのアルバム

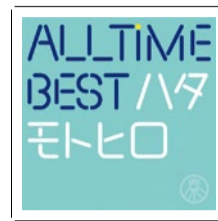
MONTHLY SELECT DJ



山添 まり

12月7日生まれ。89年FM802第一回DJオーディションに合格。FM802の開局から2018年3月まで活躍。その後4月よりFM COCOLOに移籍。料理やワインに詳しく、また英国の文化にも精通している。欧州旅行(特に英国)、美術館巡り、電気街巡り(日本橋)とボウリングや卓球など多趣味。

担当番組
[PRIME STYLE FRIDAY]
(金曜 10:00-14:00)
[PRIME STYLE SATURDAY]
(土曜 10:00-14:00)
番組Twitter
@PRIME_STYLE_765



ALBUM
All Time Best
ハタモトヒロ
ARTIST
秦 基博

雨の季節は嫌いではありません。しっとり濡れてゆく道、アスファルトの匂い、リズムカルな雨音。その季節にしか感じられない美しいものが沢山あります。力強い自然の中で、それに負けない熱い思いを「鋼と硝子でできた声」で表現し続けるシンガーソングライター、秦 基博さん。これまでも数々の魅力的な作品を世に出してきた彼ですが、このオールタイムベストは10周年を記念してリリースされた出色の作品。デビューシングルからリリース時最新シングルまでを網羅し、そのクオリティはよくある寄せ集めのベスト盤とは一線を画す作り。どうしてここまで真っ直ぐで、聞く人の心にすんなりと入って、そして余韻を残す力を持っているのか、聞くたびにその思いを新たにす素晴らしいアーティスト、秦 基博の今までの歩みを一枚でなぞることができるのも魅力。雨の日、部屋でじっくり聞くのは勿論、貴重な晴れ間に遠出する時にも期待を裏切らない一枚です。

秦 基博(はた もとひろ) / 1980年宮崎県生まれ。横浜育ち。1999年、大学入学前の春休みに、友達の友達紹介でバンク中心のライブハウス「F.A.D.yokohama」の弾き語りイベントに出演。ライブハウスのオーナーに目をかけられながら、精力的に弾き語りやバンド形式で、横浜を中心にライブを続ける。オリジナル曲も増えていく。2004年1月、インディーズアルバム「オレンジの背景の赤い静物」を発売。2006年11月デビューシングル「シンクロ」をリリース。2007年9月26日 1st ALBUM「コントラスト」をリリース。オリコンウィークリーチャート初登場5位を記録し、一躍ブレイク!

世界本の日 に 青いバラプレゼント

— 関大学長が梅田の書店で —

関西大学は4月23日、大阪市北区茶屋町のMARUZEN&ジュンク堂書店梅田店で「世界本とバラの日in大阪」を行った。この日はユネスコの定める「世界図書・著作権の日」であると同時にスペインのカタルーニャ地方で、大切な人にバラと本を贈る「サン・ジョルディの日」でもある。今の日本ではほとんど知られていないが、学生の読書運動に力を入れる芝井敬司学長や図書館担当者らが企画し、世界初の「青いバラ」を開発したサントリーフラワーズや丸善雄松堂などの協力で実現した。

関大では昨年から芝井学長や大手書店が「新生入生に送る100冊」を選んで学生に薦めており、この100冊の中から学生が自分で選んだ本の書評や帯をつくる講座も開催。23日は学生がつくった帯付きの書籍約20冊を特別展示し販売。購入者に芝井学長らから「青いバラ」が贈られた。

東大阪市からやってきた万代由美子さんは「世界は数字でできている」(野口悠紀雄著)を買った。商学部の学生がつくった帯には「1,000年後あなたは数字に残る」と書かれ、万代さんは「育休中ですがこの本を読めば、仕事に復帰してから何かに役立つような気がします。青いバラは初めてですが、とてもきれいで部屋に飾るのが楽しみです」と話した。



本の購入者にバラを贈る芝井学長 (関大提供)

固定電話の防犯対策を行おう

協力:大阪府警察



「息子」「警察官」「百貨店店員」等をかたるオレオレ詐欺など特殊詐欺の犯人からの電話は自宅の固定電話にかけてくる。特殊詐欺の被害に遭わないよう、固定電話の防犯対策を行おう。

【固定電話への対策方法】

防犯機能付電話等の使用

- 防犯機能付電話機…自動着信拒否や自動録音など様々な機能が付いた電話機
- 自動録音機…コールの前に「通話内容を録音します」等と警告アナウンスを流す
- 自動着信拒否機…迷惑電話番号を自動で判別して着信を拒否

留守番電話機能の活用

- 在宅中でも留守番電話機能を必ず設定する
- 留守番電話に切り替わるコール数を少なく設定する

それでも電話に出てしまい、相手が

- 風邪をひいて声がおかしい
- 携帯電話の番号が変わった
- 犯人が持っていた名簿にあなたの名前がある
- あなたのクレジットカードが使用されている

といった話やお金に関する話をしてきたら**一旦電話を切り、確認を行おう。**